

令和6年11月17日（日） うなぎ講座と親うなぎ放流体験会の様子
7組7人の親子に参加していただきました。

当日は爽やかな秋晴れで、11月中旬とは思えないほど暖かく、風も穏やかでお子さんたちは元気よく放流してくれました。

簡単な講義から始まり、出荷されるうなぎや浜名湖内で獲れた水産物を見たり、養鰻池の見学、最後は弁天島海浜公園で「マリアナ海溝まで元気に行って」と願いを込めて、うなぎを放流しました。

尾数	オス0尾	メス7尾	合計7尾
重量	—	3.0kg	3.0kg
平均重量	—	428.6g	428.6g





令和6年11月25日発行 中日新聞

ウナギヌルヌルバイバーイ

弁天島海浜公園

親子を対象にしたウナギの放流体験会が、浜松市中央区舞阪町の弁天島海浜公園で開かれた。7組が参加し、ウナギの保護活動への理解を深めた。

親子らは、おけに入ったウナギをそっと放流した。マリアナ海溝付近で産卵し、ふ化した稚魚のシラスウナギが日本近海に戻ってくる循環を目指す。

同区雄踏町の水産卸「海老仙」で浜名湖の水産業などについて学び、施設見学もした。浜松市泉小の鈴木楓真さん(9)は「ウナギはヌルヌルしていた。魚やアサリが減っていることが分かった」と話した。



仲買人や料理店、漁協関係者らでつくる「浜名湖発親うなぎ放流連絡会」が主催した。(柳昂介)

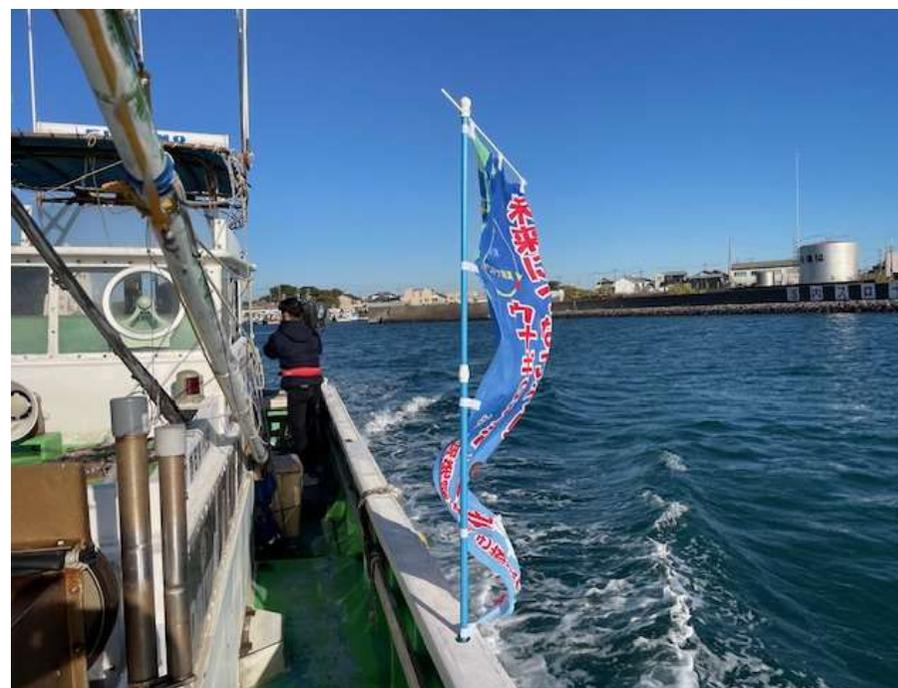
ウナギを放流する参加者ら＝浜松市中央区で



令和6年12月2日 第1回放流事業の様子

当日は快晴で風もなく、今切口沖3.0キロメートル地点で放流することができました。報道関係者にもたくさん集まっていたいただき、ご報告ができました。

尾数	オス 80尾	メス 290尾	合計 370尾
重量	17.0 kg	153.3kg	170.3kg
平均重量	212.5 g	528.6g	460.3g





遠州灘沖で放流

漁獲量回復願 い親ウナギ370匹



放流されるウナギ―遠州灘で（代表撮影）

浜名湖で取れたウナギを放流し、漁獲量の回復につなげるプロジェクトが2日、遠州灘沖であり、ウナギ計370匹（170・3キ）が海に放たれた。

ウナギの仲買人や漁協の組合員らで組織する「浜名湖発親つなぎ放流連絡会」が2013年から取り組む「ニホンウナギ資源回復プロジェクト」の一環。会員ら約20人が浜松市中央区の舞阪漁港から2隻の漁船に乗り、沖合約3キの地点で放流した。

ウナギは日本から南へ約3千キ離れたマリアナ海溝付近で産卵。生まれた稚魚のシラス

スウナギは、海流に乗って日本近海に戻って行くと言われていた。連絡会の加茂仙一郎会長（65）は「今年は漁にとってもプラスとなる寒い時期が遅かったためウナギの数がそろわず、例年より半月ほど遅い放流になった」と話し「浜名湖にシラスウナギが戻ってきてほしい。ウナギが豊漁になれば価格が安定し、食べる機会が増えて業界も活気づく」と期待を込めた。

費用の一部はインターネット上のクラウドファンディングで募り、23人から62万円が寄せられた。年内にあと2回放流する予定。（田中伸一）



浜名湖で採捕した二ホンウナギを放す関係者
＝浜松市の遠州灘(代表撮影)

親ウナギ 遠州灘へ 生産者ら 資源回復願い放流

浜名湖周辺のウナギ生産者や仲買人、料理店などでつくる「浜名湖親うなぎ放流連絡会」は3日、浜名湖で採捕した天然の二ホンウナギ370匹(計約170kg)を遠州灘に放流した。産卵場所とされるマリアナ海溝への遊泳を促し、資源回復につなげる。

同連絡会の会員が漁船2隻に乗り込み、浜松市中央区の舞阪漁港から約3kmの沖合に出て、平均約450gに育った成魚を海中に放した。今年は水温が高かつ

富士宮市の県富士山世界遺産センターで3日、来館者数150万人を達成し、記念セレモニーが行われた。節目の来館者となった富士市の親子に記念品が贈られ、職員らと共にオーブンから約7年での到達を祝った。

富士山世界遺産センター 150万人

富士の平川さん親子に記念品



にくす玉を割った。

施設は2017年12月23日に開館し、1年以内に来館者が50万人を越えた。しかしコロナ禍の影響で客足が減り、100万人の達成

ため、例年よりも放流が半月ほど遅れたという。同連絡会の加茂仙一郎会長は「シラスウナギが豊富になることで業界が上向き、価格も落ち着く。多くの人においてウナギを食べてもらえる機会を増やしたい」と期待を寄せた。

取り組み。17年度からはクラウドファンディングで資金を募り、本年度は23人から62万円が寄せられた。二ホンウナギは国際自然保護連合(IUCN)の絶滅危惧種に指定され、稚魚のシラスウナギの漁獲量も減少傾向が続いている。

れ、静岡新聞社・静の大須賀紳晃社長と送の谷口智康代表取締役務らに10位に終わったの成績を報告した。今季は前半戦で好調持し、J2昇格プレー出場圏内(6位以内)だが、後半戦で失速し昨季から三つ順位を上

浜名湖で親うなぎ 「食べるJAPAN美味」

放流について 知ってもらうため さらに継続 2日/浜名湖親うなぎ放流連絡会

新聞
編集 岡本 勇
認定工場
明屋
969-9418

名湖養殖うなぎ放流連絡会(加茂仙一郎会長)は2日

ウナギの仲買人や漁協の組合員などで組織される浜名湖養殖うなぎ放流連絡会ではウナギの資源回復を目的に、2013年から毎年浜名湖で親ウナギの放流を実施している。



今月2日浜名湖で行われた親うなぎ放流の様子。11回目は370匹が放流された



市内のうなぎ料理店の担当者、浜松市の職員などおよそ20名が参加。浜松市中央区の舞阪漁港から二隻の

漁船に分乗し、沖合およそ3kmの場所まで移動して放流した。今回放流されたのはオスが80匹、メスが170匹、合計250匹。放流は12月中にあと三回実施される予定。

しきや安心・安全などを基に賞式が行われ、冒頭審査委員、影山恭英理事が「今回も申し組み、外食産業を盛り上げ

令和6年12月12日 第2回放流事業の様子

1週間ほど前に穏やかな天候と天気予報で出ており、この日を第2回の放流日と決定しましたが、日に日に天候が傾き、非常に風の強い放流日となってしまいました・・・。

強風で遠州灘沖合には出れず、遠州灘入口の今切口付近での放流となりました。親うなぎ50尾（16kg）と船1艘に10名が乗船し、第2回の放流活動を行いました。

尾数	オス 33尾	メス 17尾	合計 50尾
重量	8.0kg	8.0kg	16.0kg
平均重量	242.2g	470.6g	320.0g





令和6年12月18日 第3回放流事業の様子

天気は良かったのですが、風が強くて第2回と同様に遠州灘まで出れず、今切口での放流となりました。

第3回目の放流は市場に天然うなぎが多く出ず、少量の放流となってしまいました。第2回目よりも多く放流することを目標にしていたが、残念ながら2回目よりも少なくなりました。大変申し訳ありませんでした。

尾数	オス 28 尾	メス 15 尾	合計 43 尾
重量	6.5 kg	6.0kg	12.5kg
平均重量	232.1 g	400.0g	290.7g





本事業における下リウナギの放流内訳

平成 25 年度放流内訳	11 月 1 日	11 月 22 日	11 月 29 日	合計
重量 (kg)	80.03	79.25	40	199.28
尾数 (本)	122	115	58	全て雌 295
平均重量 (g)	656	689	690	676

平成 26 年度放流内訳	11 月 17 日	11 月 27 日	12 月 10 日	合計
重量 (kg)	127	80	40	247
尾数 (本)	280	195	89	雌 456 雄 108 564
平均重量 (g)	454	410	449	438

令和 27 年度放流内訳	11 月 20 日	12 月 7 日	12 月 21 日	合計
重量 (kg)	67.3	126.2	97.8	291.3
尾数 (本)	165	295	236	雌 551 雄 145 696
平均重量 (g)	408	428	414	419

令和 28 年度放流内訳	11 月 15 日	11 月 30 日	12 月 8 日	合計
重量 (kg)	173.8	213.8	22.6	410.2
尾数 (本)	366	530	36	雌 752 雄 180 932
平均重量 (g)	475	403	628	440

本事業における下リウナギの放流内訳

平成 29 年度放流内訳	11 月 28 日	12 月 15 日	月 日	合計
重量 (kg)	105.7	68	0	173.7
尾数 (本)	263	209	0	雌 287 雄 185 472
平均重量 (g)	402	325	0	368

平成 30 年度放流内訳	11 月 8 日	11 月 27 日	12 月 17 日	合計
重量 (kg)	176.2	101.4	142.9	420.5
尾数 (本)	282	233	380	雌 586 雄 309 895
平均重量 (g)	625	435	376	470

令和元年度放流内訳	11 月 1 日	11 月 27 日	12 月 10 日	合計
重量 (kg)	101.2	241.2	85.9	428.3
尾数 (本)	229	545	265	雌 616 雄 423 1,039
平均重量 (g)	442	443	324	412

令和 2 年度放流内訳	10 月 29 日	11 月 16 日	12 月 11 日	合計
重量 (kg)	87.8	220.4	80	388.2
尾数 (本)	183	434	208	雌 563 雄 262 825
平均重量 (g)	479.8	507.8	384.6	470.5

本事業における下リウナギの放流内訳

令和3年度放流内訳	11月14日 (親子うなぎ教室)	11月17日	11月29日	12月10日	合計
重量 (kg)	5	99.6	119.7	101.1	325.4
尾数 (本)	9	215	256	255	雌 503 雄 232 735
平均重量 (g)	555.6	463.3	467.6	396.5	442.7

令和4年度放流内訳	11月20日 (親子うなぎ教室)	11月24日	12月12日	月 日	合計
重量 (kg)	5	148.5	33.2	0	186.7
尾数 (本)	9	351	98	0	雌 322 雄 136 458
平均重量 (g)	555.6	423.1	338.8	0	407.6

令和5年度放流内訳	11月19日 (親子うなぎ教室)	11月21日	12月4日	12月14日	合計
重量 (kg)	5	124.5	30.9	24.4	184.8
尾数 (本)	8	321	80	62	雌 223 雄 248 471
平均重量 (g)	625	387.9	386.3	393.5	392.4

本事業における下リウナギの放流内訳

令和6年度放流内訳	11月17日 (親子うなぎ教室)	12月2日	12月12日	12月18日	合計
重量 (kg)	3.0	170.3	16.0	12.5	201.8
尾数 (本)	7	370	50	43	雌 329 雄 141 470
平均重量 (g)	428.6	460.3	320.0	290.7	429.3

《クラウドファンディング実績》

年度	支援者数 (名)	金額 (円)
H29 2017	45	532,000
H30 2018	21	368,000
R 1 2019	32	336,000
R 2 2020	66	1,222,000
R 3 2021	26	370,000
R 4 2022	41	710,000
R 5 2023	25	730,000
R 6 2024	23	620,000
合計	279	4,888,000

※現在までの支援の合計 279名 4,848,000円